

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ **学校力向上プラン**【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像 **夢にむかって自分らしく輝く子**

堺市立大泉中学校
校長 忠見 亜由美

令和8年度 重点目標 自分の言葉で自分の考えを伝えられる子の育成

1. 「自ら学ぶ子」「考える子」「仲良くする子」◎思考力向上のための取組や協働的な学びをとおして自ら学びを進められる子の育成 ◎「本物との出会い」をとおしたキャリア教育の推進 ◎グリーンスクールをとおした規範意識の向上
◎カワセミはがきを活用した自尊感情の向上 ◎あいさつや靴そろえなど、基本的なことを大切にすることももの育成 ◎たがいに認め合える集団づくりやさまざまな教育活動をとおした人権感覚の醸成

2. 「情熱」「指導力」「教育公務員としての自覚」◎大泉学園授業スタンダードの活用 ◎教科の専門性を活かし、児童生徒が主体的に学べる授業の推進 ◎教科の特性を活かし、9年間を見据えた指導 ◎妥当性・信頼性の高い学習評価・正確な進路対応 ◎コンプライアンスの遵守 ◎定時退勤日の遵守・時間外在校時間等時間の削減・ICTの活用による働き方改革

3. 「安心・安全」「チーム力」「未来をつくる」◎人権尊重の精神に立った教育活動 ◎個に応じた特別支援教育の充実 ◎「どの子にもわかる授業づくり」による居場所づくりや仲間づくり ◎いじめの未然防止・早期発見・早期解決
◎危機管理体制の徹底 ◎児童生徒の健康管理の推進 ◎学校・家庭・地域・関係機関とよりよい関係づくり

「確かな学び」の現状

昨年度の全国学調、大阪府チャレンジテストでは、多くの項目で大阪府平均を上回った。朝学習や家庭学習、単元テスト導入による基礎基本の定着や、大泉スタンダードに基づいた思考力向上を目指した授業の成果が表れてきていると考えられる。今後も、基礎基本の徹底を継続しながら、協働的・対話的に学習を進めることで思考力を高めていきたい。一方、チャレンジテスト生徒アンケートで「難しいことがあってもあきらめない」の項目で、大阪府に比べ低い結果となった。引き続き、レジリエンス教育を推進していきたい。

「豊かな心・健やかな体」の現状

大泉版「いいとこみつけ」の取組「カワセミはがき」を活用した「グリーンスクール」の項目で肯定的回答が90%を超えている。また、はつらつカード等で基本的な生活習慣について考える取組を行っているものの、スマホの使用時間では6割を超える生徒が2時間以上の使用時間であり、今後も継続して指導していく必要がある。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (11月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	思考力の育成	論理的な思考力の向上	★「思考力」の育成を軸とし、「大泉授業スタンダード」に基づき、指導法のさらなる工夫により、考える力の一層の育成をめざす。	「思考力」項目で肯定的回答80%以上 チャレンジテストの「思考・表現」問題で昨年度正答率を上回る。	学校評価アンケート(生徒用)(教員用) チャレンジテスト	1月			
		基礎基本の徹底と活用、家庭学習の定着	★朝学習・家庭学習を通して、漢字力や計算力、語彙力などの基礎学力の定着を図る。 ●単元テスト・各教科の学習計画の取り組みを実施し、家庭学習の習慣化を図る。	「家庭学習」の項目で肯定的回答70%以上	学校評価アンケート(生徒・保護者用)	1月			
	問題解決能力	ICTの活用	★一人一台端末について、思考やコミュニケーションツールとしての効果的な活用を進める。	タブレットの使用に関する項目で肯定的回答が大阪府平均を上回る。	チャレンジテスト・全国学調の生徒質問	1月			
		キャリア教育の充実	★ドリームファイルの活用を通して、「自分の夢や目標を明確にして、自らの行動を振り返り、実現に向けて努力できる子」の育成をめざす。	「自己実現」の項目で肯定的回答75%以上	学校評価アンケート(生徒用)	1月			
豊かな心・健やかな体	豊かな心	互いに認め合える集団作り グリーンスクールの推進 自尊感情を高める	●★「カワセミはがき」を年間通して活用し、「いいとこみつけ」に取り組んでいく。また、異学年交流や生徒会・学校行事等での子どもたちの活躍の場を通して自尊感情を育てていく。	「グリーンスクール」の項目で肯定的回答90%以上 「自尊心」の項目で肯定的回答85%以上	学校評価アンケート(生徒用)	1月			
		人権・道徳教育の充実	★全学年で道徳の公開授業を行い、人権学習も学年の垣根を越えて行う。日々の道徳の授業を通して自他の立場を尊重し合い、よりよい人間関係を構築していく感性を育てていく。また、全職員を対象とした研修も行う。	「豊かな心」の項目で肯定的回答85%以上	学校評価アンケート(生徒用)	1月			
		いじめ防止の取組	●★月1回、教員がいじめ防止対策基本方針を確認する日を設定し、児童生徒に啓発を行う。 ●すべての学年でいじめ防止に関する道徳授業を行い、いじめ防止を啓発する。	「いじめを許さない」の項目で肯定的回答95%	心のアンケート(生徒用)	5・10・2月			
	健やかな体	健全な生活習慣の定着	★はつらつカードで自らの生活を振り返り、基本的な生活習慣を定着させる。	「ゲーム・スマホ」の項目で使用時間を1日2時間以内を昨年より増やす 睡眠時間を昨年より増やす。	はつらつカード	5・10・1月			
小中一貫	小中一貫校としての学びと育ちの連続性ある9年間の系統的な指導体制の確立	★小中の教員が互いの専門性を学び合うことで授業力を高め、9年間の系統的な指導体制を確立する。 ・小中一貫校の特性をいかして、全職員が共通の教育理念で教育活動にあたる。	学園会議・学園研修の計画的な運営・実施 学校評価アンケートの「一貫教育」項目で肯定的回答96%以上	学校評価アンケート(教職員・保護者用)	1月				
校長より(年度末)							学校関係者・評価者から(年度末)		